

事務事業名 畜犬管理事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：358

施策：	08	快適な生活環境の促進	財務コード	01040106-02-308
基本事業：	02	ペット飼育の適正化	担当部	環境経済部
基本事業の 成果指標	ペット、小動物に関する苦情・トラブル・事故件数		担当課	環境課
			担当係	環境保全・廃棄物



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和48年度 ~		新規・継続	継続	会計区分		実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
畜犬の飼い主			犬の登録事務 ・新規登録 犬の所有者や所在地等を登録 ・登録抹消 犬の死亡による届出 ・変更登録 所有者等の変更 ・鑑札の交付 ・狂犬病予防接種済票の交付 狂犬病予防注射の集団接種 4～5月に実施						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
・畜犬登録・予防注射により、狂犬病の発生を予防する。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標
畜犬による咬傷事故件数		件	3	0	0	0			0
しつけ方教室参加者数		人	42	65	20	20			20
5. コスト									
事業費		計	千円	614	842	684	716		
		国	千円		0	0	0		
		県	千円		0	0	0		
		地方債	千円		0	0	0		
		その他 一般	千円	614	842	659	716		
正職員人工数		人工	0.8	0.8	0.8				
正職員人件費		千円	6,252	6,418	6,705				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	6,866	7,260	7,389	716			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている  あがっていない (停滞・低下)		畜犬による咬傷事故は0件でした。 しつけ方教室参加者数は、市単独開催分が13人、筑紫地区共同開催分が52人でした。筑紫地区共同開催については、令和6年度の当番市が本市であったため参加者が増加しています。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし						
成果向上余地	なし								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性		維持 見直し 廃止 事業終了				
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
昭和48年 畜犬管理条例制定 令和4年6月1日 犬・猫へのマイクロチップの装着・登録の義務化			備考・特記事項 or 進行管理欄						